

揺れるところを見える化する

「トーキングマット」(日本語版)ができました!



<https://sdm-japan.net/talking-mats/>



トーキングマット



トーキングマットは、カードのやり取りを通じて
ご本人の思いや価値観を「見える化」します!

1998年に、スコットランドのスターリング大学研究者が開発した、本人が大切にしている思いや希望を知り、お互いに分かち合うための支援ツールであるトーキングマット(Talking Mats)。トーキングマットは、カードのやり取りを通じて、意思決定の背景にある本人のこのころの動きを見える化することが可能です。

2020年度に挑戦したREADYFORのクラウドファンディングでは、100名を超える皆さまのご支援と英国トーキングマット社のご協力をいただき、全年齢版として「健康とウェルビーイング」フルセット(日本語版)を開発することができました! ICF(国際生活機能分類)の考え方を踏まえ、「かんきょう&自由時間のすごしかた」「くらしと自立」「けんこう」「コミュニケーション」の4バック×3テーマ=全13セットが用意されています。

2021年度には、トーキングマット「子ども・青少年との対話」フルセット(日本語版)を開発するためのプロジェクトを立ち上げ、85名の皆さまからご支援をいただきました! 幼少期、少年期、青年期の3つの年齢層に併せて「わたしのからだどちらから」「わたしのかつどう」「わたしのせいかい」の各テーマ(全9セット)が用意されており、同じ選択肢でも異なるイラストが描かれているなど、発達段階に応じた工夫がなされています。

※トーキングマットは、本人自身が「考える」ことを支援するためのツールであり、いわゆる「意思疎通」をするためのツールとはコンセプトが異なります。



子どものころから、適切なサポートの下、自分が何を心から望んでいるのかを考え、表現していくための意思決定のちからを育てていくことはとても大切なことだと思います。

プロジェクトを通して、子どもを育てるという観点だけではなく、意思決定をする側も意思決定を受け取る側も共生できるような多様性のある社会を皆さまと作っていきたくと考えています。

SDM-Japanは、障害のあるなしにかかわらず、誰もが自信と誇りをもって、自分の思いを述べ、心からの希望に基づいて意思決定することができる社会を目指しています。



← 全年齢版



SDM-Japan



揺れるところを見える化する
TalkingMats

(商標登録番号:6296641・6296645)

子ども版 →

